

# oa SYSTEMS

## 株式会社オーエー・システム・プラザ 第25期中間報告書

平成18年4月1日から平成18年9月30日まで



## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

オーエー・システム・プラザグループは平成18年1月にIT・デジタルメディア・コンテンツ事業として東西キャピタル(株)を中心に、(株)バナッシュ、(株)ディーアンドオール・インテグレイツ及び(株)ダイヤモンドエージェンシーの株式を取得した事により、ITをキーワードにして、より社会に貢献する機会が増えました。

技術革新による変化の激しい世界ではありますが、「ITはあくまでも人と社会のためにある」という理念を忘れずに社会貢献するビジネスを展開していきます。

さて、第25期中間期(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)における中間報告書をお届けするにあたり、営業の概況及び中間決算につきまして、次のとおりご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景とした設備投資の増加や雇用情勢に改善の広がりが見られるなど、景気は回復基調で推移いたしました。原油価格の高騰や日銀の量的緩和政策の終結による金利の上昇懸念等材料から、先行きに対する不安要素を払拭できない状況にありました。

パソコンの個人市場におきましては、単価下落の傾向が緩やかにしているものの、消費・支出が予想以上に分散した為、当中間連結会計期間におけるパソコンの国内出荷金額は前年比で約94%(JEITA調べ)と、厳しい状況が続いております。

このような状況下、パソコン販売事業についてはスクラップ&ビルド、店舗再配置戦略の一環として、経営効率を高めるべく愛媛県の宇和島市で営業しておりましたPC DEPOT宇和島店を平成18年8月20日をもって閉店し、同じく愛媛県の松山市で

営業中のPC DEPOT松山店に店舗統合した結果、平成18年9月末時点の店舗数は10店舗となりました。

パソコン市場におきましては、世帯普及率が8割を超え、新規需要から、買換え・買増へと需要は変化してきており更なるサービスの需要が高まるものと予測いたします。そのような状況下、営業戦略といたしまして、保守サービス型商品の販売強化、安心してパソコンを使用していただく為の無料点検の充実、技術収益及びサービス収益の増強により、収益重視の経営に努めましたが、家庭市場におけるパソコン需要の停滞が続いており、パソコン販売事業においては計画を下回る結果となりました。

IT・デジタルメディア・コンテンツ事業においてはほぼ計画どおりの業績となりました。

投資事業につきましては、当中間連結会計期間におけるIT・デジタルメディア・コンテンツ事業関連のM&A案件はありませんでした。

不動産賃貸事業につきましては自社所有の土地・建物を有効利用し計画通りに推移しております。

一方、費用面では本年1月より子会社4社を含む連結経営となったことによりグループ企業の管理費用が発生しております。

以上のような結果により、当中間連結会計期間の業績は、売上高60億87百万円、経常利益43百万円、中間純損失1億28百万円となりました。

今後の見通しにつきましては、原油高や長期金利の上昇懸念等の先行き不透明感がある中、企業収益の改善や設備投資の拡大などにより個人消費も堅調に推移するものと思われれます。IT関連の小売業界におきましても、個人消費は改善傾向にあるものの、家庭におけるパソコン普及率が頭打ちとなり今後も厳しい状況が続くものと思われれます。

このような状況の下、当社グループといたしましては、この下半期においてパソコン事業拡大の為新規出店に向けた活動を積極的に行いつつ、営業内容においては顧客の利便性、安全性を考慮し、万一にも対応する安心性を実現した月額会員制の保守サービス「プレミアムサービス」を主軸に収益率アップを図ってまいります。

また、IT・デジタルメディア・コンテンツ事業につきましては、IT派遣事業は、日本経済の回復基調に伴う雇用状況の改善により順調に推移しており、M&Aによる積極的な投資を行っていく予定であります。当社グループといたしましては、前年度に引き続き、戦略的コンサルティング、ブランディング、インタラクティブサービスを展開してまいります。

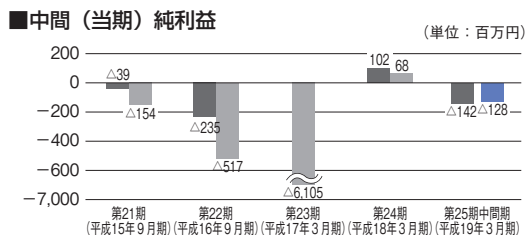
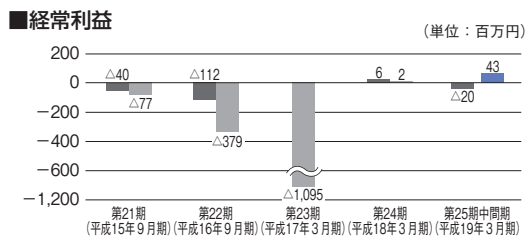
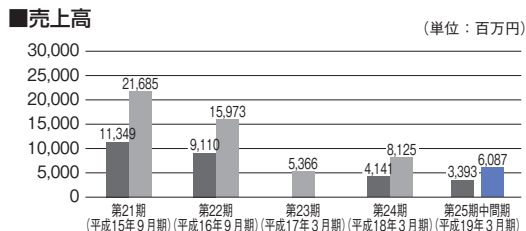
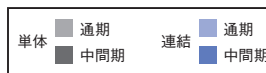
株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年12月

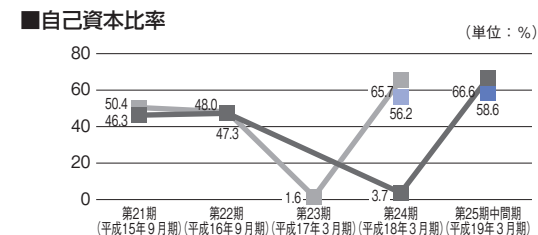
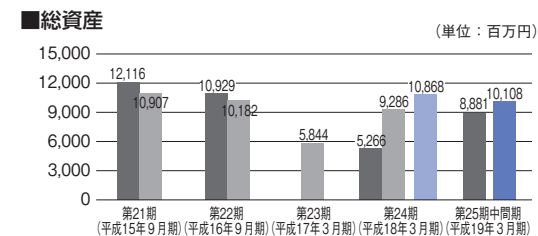
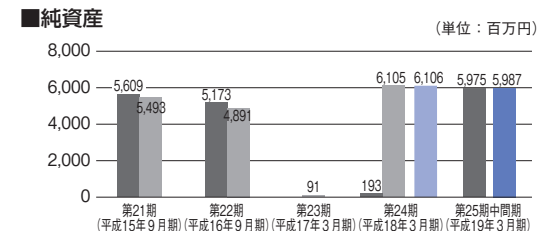


代表取締役社長 大喜章徳

## 財務ハイライト



(注) 1. 平成17年3月期は決算期変更により6ヶ月の変則決算となっております。  
2. 平成19年3月期中間期より連結損益計算書を作成しております。  
3. 平成18年3月期より連結貸借対照表を作成しております。



## 連結財務諸表

### 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当中間期 (平成18年9月30日)	科目	当中間期 (平成18年9月30日)
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
流動資産	4,720,728	流動負債	2,464,924
現金及び預金	2,812,733	支払手形及び買掛金	1,028,492
受取手形及び売掛金	881,076	短期借入金	600,000
たな卸資産	936,211	1年以内償還予定社債	30,000
その他	94,530	1年内返済予定長期借入金	315,824
貸倒引当金	△3,824	未払金	246,202
固定資産	5,322,842	未払法人税等	65,383
有形固定資産	2,813,112	賞与引当金	20,140
建物及び建築物	580,394	その他	158,880
土地	2,163,624	固定負債	1,655,334
その他	69,093	社債	90,000
無形固定資産	1,207,642	長期借入金	1,091,222
のれん	1,181,186	退職給付引当金	162,551
その他	26,455	預り保証金	181,812
投資その他の資産	1,302,087	その他	129,748
投資有価証券	155,543	負債合計	4,120,258
差入保証金	1,112,409	<b>純資産の部</b>	
その他	34,133	株主資本	5,966,256
繰延資産	64,608	資本金	3,070,080
新株発行費	63,583	資本剰余金	3,011,288
社債発行費	1,025	利益剰余金	△60,595
資産合計	10,108,179	自己株式	△54,515
		評価・換算差額等	△41,535
		その他有価証券評価差額金	△41,535
		新株予約権	63,200
		純資産合計	5,987,921
		負債及び純資産合計	10,108,179

(注) 当中間期より連結財務諸表を作成しております。

## 連結財務諸表

### 中間連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当中間期 (平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)
売上高	6,087,048
売上原価	4,628,487
売上総利益	1,458,561
販売費及び一般管理費	1,376,511
営業利益	82,049
営業外収益	13,681
営業外費用	52,337
経常利益	43,393
特別利益	6,740
特別損失	123,385
税金等調整前中間純損失	73,250
法人税、住民税及び事業税	58,701
法人税等調整額	△3,768
中間純損失	128,183

### 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当中間期 (平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	△97,523
投資活動による キャッシュ・フロー	△92,767
財務活動による キャッシュ・フロー	△250,513
現金及び現金同等物の 減少額	△440,804
現金及び現金同等物の 期首残高	3,094,827
現金及び現金同等物の 中間期末残高	2,654,023

### 中間連結株主資本等変動計算書

当中間期 (平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

(単位：千円)

項目	株主資本					評価・換算 差額等 その他有価証券 評価差額金	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成18年3月31日残高	3,070,080	3,011,288	69,288	△54,388	6,096,268	9,829	63,200	6,169,297
中間連結会計期間中の変動額								
役員賞与(注)			△1,700		△1,700			△1,700
中間純損失			△128,183		△128,183			△128,183
自己株式の取得				△127	△127			△127
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)						△51,365	—	△51,365
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	△129,883	△127	△130,011	△51,365	—	△181,375
平成18年9月30日残高	3,070,080	3,011,288	△60,595	△54,515	5,966,256	△41,535	63,200	5,987,921

(注) 前期の利益処分によるものであります。

## 個別財務諸表

### 中間貸借対照表

(単位：千円)

科目	当中間期	前中間期	科目	当中間期	前中間期
	(平成18年9月30日現在)	(平成17年9月30日現在)		(平成18年9月30日現在)	(平成17年9月30日現在)
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産	3,785,620	1,411,480	流動負債	1,528,693	2,437,751
現金及び預金	2,231,905	176,328	買掛金	479,059	685,502
売掛金	279,398	301,393	短期借入金	600,000	1,264,211
たな卸資産	909,908	881,483	1年以内に返済予定の長期借入金	263,372	332,693
その他の流動資産	364,817	52,641	未払法人税等	12,183	5,905
貸倒引当金	△410	△367	賞与引当金	18,530	—
固定資産	5,035,992	3,855,413	店舗撤退損失引当金	—	5,280
有形固定資産	2,728,366	2,806,493	その他の流動負債	155,548	144,158
建物	521,973	586,362	固定負債	1,377,404	2,635,789
土地	2,162,075	2,162,075	長期借入金	1,070,335	2,395,992
その他の有形固定資産	44,317	58,054	退職給付引当金	58,435	52,390
無形固定資産	6,294	7,104	その他の固定負債	248,634	187,406
投資その他の資産	2,301,331	1,041,816	負債合計	2,906,097	5,073,540
差入保証金	995,242	1,123,961	<b>資本の部</b>		
その他の投資等	1,306,089	14,694	資本金	—	100,000
貸倒引当金	—	△96,839	資本剰余金	—	49,928
資産合計	8,881,154	5,266,894	利益剰余金	—	102,314
			中間未処分利益	—	102,314
			自己株式	—	△58,888
			資本合計	—	193,353
			負債及び資本合計	—	5,266,894
			<b>純資産の部</b>		
			株主資本	5,953,392	—
			資本金	3,070,080	—
			資本剰余金	3,011,288	—
			利益剰余金	△73,459	—
			自己株式	△54,515	—
			評価・換算差額等	△41,535	—
			その他有価証券評価差額金	△41,535	—
			新株予約権	63,200	—
			純資産合計	5,975,056	—
			負債及び純資産合計	8,881,154	—

## 個別財務諸表

### 中間損益計算書

(単位：千円)

科目	当中間期	前中間期
	(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)	(平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)
売上高	3,393,100	4,141,169
売上原価	2,653,503	3,326,329
売上総利益	739,597	814,839
販売費及び一般管理費	730,756	781,787
営業利益	8,840	33,052
営業外収益	14,011	19,352
営業外費用	43,259	45,533
経常利益(損失：△)	△20,407	6,871
特別利益	16	177,749
特別損失	116,139	76,400
税引前中間純利益(損失：△)	△136,531	108,219
法人税、住民税及び事業税	5,675	5,905
中間純利益(損失：△)	△142,206	102,314
前期繰越損失(△)	—	△2,424,071
資本金減少による欠損填補額	—	2,424,071
中間未処分利益	—	102,314

### 中間株主資本等変動計算書

当中間期(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

(単位：千円)

項目	株主資本						自己株式	株主資本合計	評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		資本剰余金 合計	利益剰余金 その他 繰越利益 剰余金	資本剰余金 合計					
		資本準備金	その他 資本剰余金								
平成18年3月31日残高	3,070,080	2,951,360	59,928	3,011,288	68,746	△54,388	6,095,726	9,829	63,200	6,168,756	
中間会計期間中の変動額											
中間純損失					△142,206		△142,206			△142,206	
自己株式の取得						△127	△127			△127	
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)								△51,365	—	△51,365	
中間会計期間中の変動額合計	—	—	—	—	△142,206	△127	△142,333	△51,365	—	△193,699	
平成18年9月30日残高	3,070,080	2,951,360	59,928	3,011,288	△73,459	△54,515	5,953,392	△41,535	63,200	5,975,056	

## 会社の概況

### ■会社の概要（平成18年9月30日現在）

商号 株式会社オーイー・システム・プラザ  
 本社所在地 〒460-0011  
 名古屋市中区大須三丁目11番19号  
 （平成18年12月11日に本社を移転しました。）  
 設立年月日 昭和58年4月1日  
 事業内容 パーソナルコンピュータ、その他関連周辺機器の販売と、これに付帯関連する事業、ならびに不動産賃貸事業、投資事業を営んでおります。  
 資本金 30億70百万円  
 従業員数 66名

### ■役員（平成18年9月30日現在）

代表取締役社長 大喜章徳  
 取締役会長 平山達大 ファーストパートナーズグループ株式会社 代表取締役  
 取締役副社長 ブレندان・マクマーン 東西キャピタル株式会社 代表取締役社長  
 取締役 加納順一 CFO（最高財務責任者）  
 取締役 長谷川泰規 店舗開発担当  
 取締役 アンドリュー・マンクェヴィッチ 株式会社アポロ・インベストメント 代表取締役社長  
 取締役 笠間康弘 株式会社ピーシーデポコーポレーション 経理部財務チームマネージャー  
 常勤監査役 藤井弘之  
 監査役 佐藤修一 日新化成工業株式会社 代表取締役社長  
 監査役 太原正裕 城西大学経営学部マネジメント総合学科 客員助教授

（注）1. 取締役のうち、笠間康弘は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。  
 2. 監査役のうち、佐藤修一、太原正裕の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

### ■株式の状況（平成18年9月30日現在）

発行可能株式総数 135,000,000株  
 発行済株式の総数 40,410,000株  
 株主数 1,836名

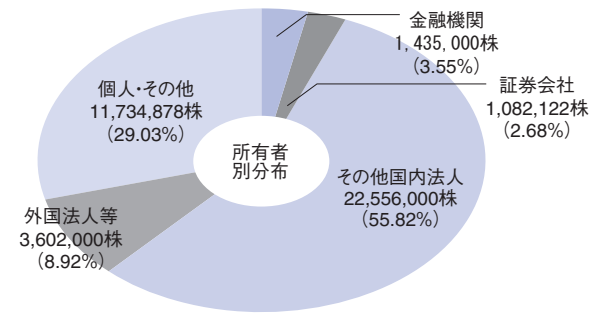
### ■大株主（平成18年9月30日現在）

株主名	所有株式数	議決権比率
(株)アポロ・インベストメント	16,220千株	41.60%
(株)ピーシーデポコーポレーション	3,800	9.74
クレディアグリコルスイスエスエー	1,746	4.47
大喜一夫	780	2.00
松井証券(株)（一般信用口）	742	1.90
イーエフジーバンク	720	1.84
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (りそな信託銀行再信託分・シーキュー株式会社退還給付信託口)	600	1.53
ユーオービーカイヒアンプライベート リミテッドアカウントクライアントツ	590	1.51
大阪証券金融(株)（業務口）	508	1.30
垂見潤一	455	1.16

（注）上記には含まれておりませんが、当社は平成18年9月30日現在自己株式1,215千株を有しております。

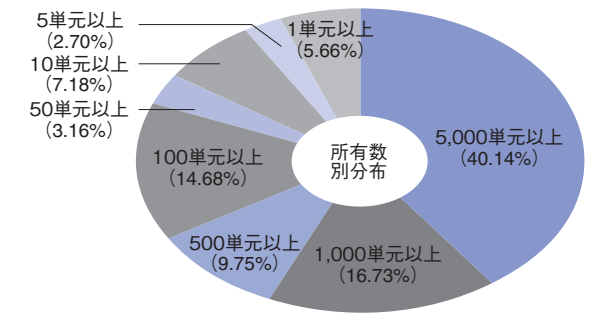
## 株式の状況

### ■所有者別株式の分布状況（平成18年9月30日現在）

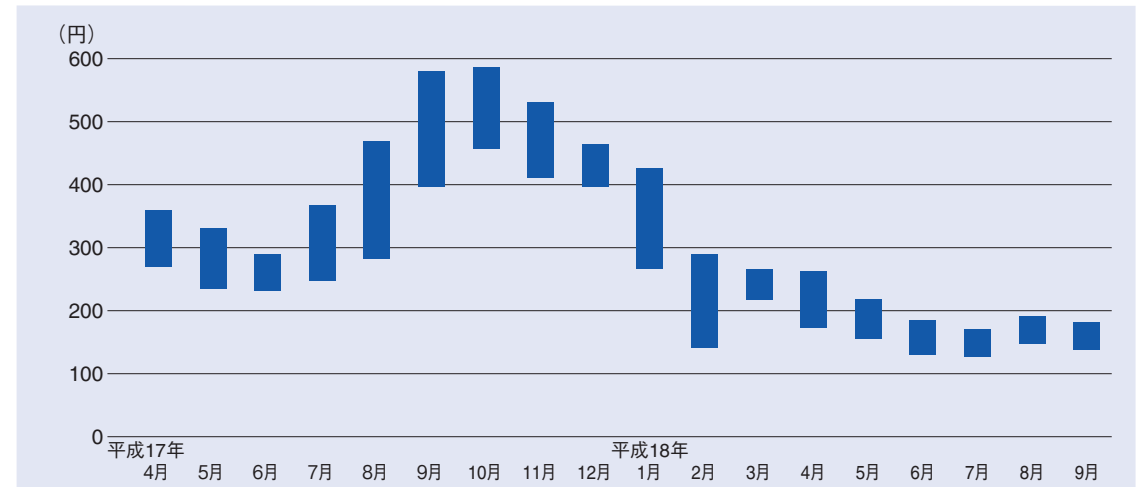


（注）個人・その他には自己株式1,215,800株が含まれております。

### ■所有数別株式の分布状況（平成18年9月30日現在）



### ■株価チャート

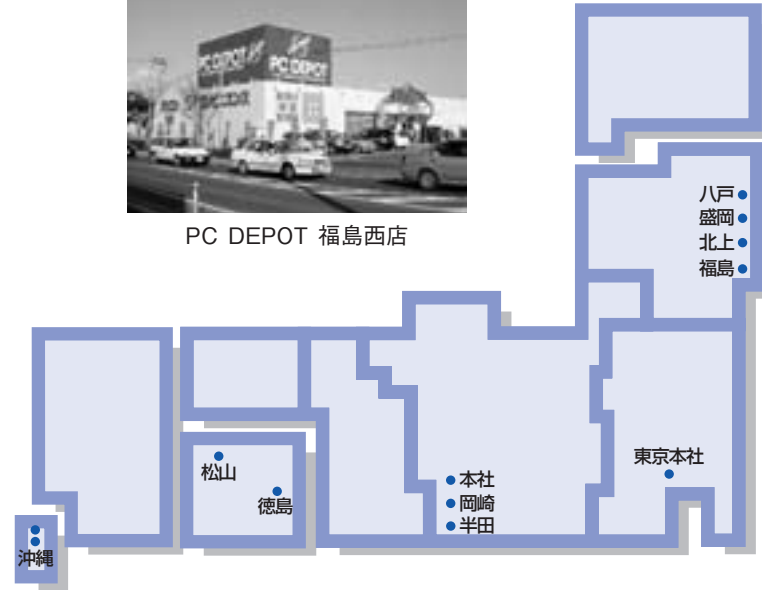


## 事業所一覧

PC DEPOT 全10店舗（平成18年12月15日現在）



PC DEPOT 福島西店



本 社 〒460-0011 名古屋市中区大須三丁目11番19号  
 東 京 本 社 〒105-6227 東京都港区愛宕2-5-1  
 愛宕グリーンヒルズMORIタワー27階  
 PC DEPOT 八戸新井田店 〒031-0816 青森県八戸市新井田西3-2-7  
 PC DEPOT 盛岡仙北店 〒020-0864 岩手県盛岡市西仙北1-20-22  
 PC DEPOT 北上店 〒024-0004 岩手県北上市村崎野14地割31  
 PC DEPOT 福島西店 〒960-8165 福島県福島市吉倉字前田27-1

PC DEPOT 岡崎戸崎店 〒444-0840 愛知県岡崎市戸崎町字池下5-1  
 PC DEPOT 半田インター店 〒475-0925 愛知県半田市宮本町5-329-1  
 PC DEPOT 徳島店 〒770-8053 徳島県徳島市沖浜東1-14  
 PC DEPOT 松山店 〒790-0051 愛媛県松山市生石町667  
 PC DEPOT 北谷店 〒904-0116 沖縄県中頭郡北谷町北谷2-15-3  
 PC DEPOT 豊見城店 〒901-0201 沖縄県豊見城市字真玉橋178

## 株式のご案内

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月
- 配当金受領株主確定日 利益配当金 3月31日  
中間配当を実施する場合 9月30日
- 株式事務取扱場所  
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
(同連絡先) 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-232-711 (通話料無料)
- 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店  
株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。  
電話(通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部)  
0120-684-479 (大阪証券代行部)
- インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>  
ジャスダック証券取引所
- 公告掲載方法 公告は当社のホームページ (<http://www.oasystem.com/ir/>) をご覧ください。  
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。
- 会計監査人 監査法人トーマツ

# TOPIX

## インターネットで企業情報提供

当社ではインターネットによるIR（投資家向け広報活動）を発信しております。会社概要、財務データ、四半期決算、店舗展開等タイムリーな情報を提供しております。

ホームページアドレス <http://www.oasystem.com/>

# oa SYSTEMS

株式会社オーエー・システム・プラザ



この報告書は、古紙配合率100%の再生紙と、環境に優しい大豆インキを使用して印刷するとともに、針金を使わず「ECO感じ」にて製本しています。